

〔景観の分類〕

景 観 立 地 区 分

分類記号	景観立地	仰 角	俯 角	距離 (km)	標 高 (m)
I	山 岳	10° ~			600 ~
I・II	亜 山 岳	10° ~			200 ~ 600
II	丘 陵 地	5° ~		~ 6.6	75 ~ 600
III	平 地	} 5°	} ~ 10°		} ~ 75
IV	海 浜				

景 観 立 地 区 分 と

水の状態 標高差 による景観 立地	水界を意識しない景観	主 景 観 に	
		1	2
		湿 地	湖 沼
I 山 岳	①山岳景観 ②a 山地高原景観 ③b 火山荒原景観	④高層湿原および湿性 草原景観	⑤a 山地自然湖沼 景観 ⑥b 山地人工湖沼 景観
I・II 亜 山 岳	⑨亜山岳景観	"	"
II 丘 陵 地	⑩丘陵地景観	④湿性草原景観	⑪a 丘陵地自然湖沼 景観 ⑫b 丘陵地人工湖沼 景観
III 平 地	⑬原野景観 ⑭a 田園景観 ⑭b 亜都市景観 ⑭c 都市景観	⑫低湿地景観	⑬低地湖沼景観
IV 海 浜		⑭干潟地景観	⑮潟湖景観

〔景観評価度〕

景観を評価するに当たっては、景観の持つ特性に応じてできるだけ総合的にとらえ、多面的な評価を行うこととし、次の3つを評価要因とした。

- ① ヴィジビリティ 景観の広がりなどによってもたらされる見やすさの度合。
- ② 景観自然度 視覚にかかわる景観の各構成要因の自然状態のよしあしの度合。
- ③ 景観特性 景観に特有な審美観、景観の形態的特徴、色彩的特徴や景観ポイントの多少、景観の貴重性。

景観を分類するに当た

景観立地とした。

景観の細分類に当た

様を指標として、主景観

湿地、2湖沼、3溪谷、4

地区分に対照させて次の2

景 観 分 類

水 界 を 意 識 ず
3
溪 谷
⑦山岳溪谷
"
⑩丘陵地溪谷景観

ヴィジビリティについて

それぞれ5段階に評価した。

景観自然度については、地

大気の透明の程度、視地にお

て評価した。